

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 8 月 1 9 日現在 江戸川区立二之江第二小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	50.0%	50.0%
令和 7 年度の目標	45.0%	45.0%
令和 6 年度の結果	41.7%	31.7%
令和 5 年度の結果	36.1%	36.2%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	32.2%	35.5%
第 5 学年	27.3%	50.8%
第 4 学年	46.7%	41.6%
第 3 学年	46.7%	45.0%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・【国語】校内研修会を実施し、音読指導や漢字指導の充実を図る。（読む姿勢やなぞり読み、漢字練習の方法 等） ・【算数】算数を校内研とし、年 6 回の研究授業・協議会の充実を図る。 ・【国語・算数】問題の解き方指導研修会の実施（年 2 回外部講師）	・週 2 回（国語 1・算数 1）朝学習で、国語は言語や読み問題を主に取り組み、算数は区定着度調査の結果を生かし、未定着の単元に特化した個別的な学びの充実を図る。 ・漢字小テスト実施日を予め設定し、見通しをもって取り組めるような環境をつくり、漢字習得率を上げる。 ・校内かけ算定着度調査を年 2 回（5 月・9 月）実施し、かけ算の定着を図る。	・【全教科】下敷きを敷く。ミニ定規を使う。ノート指導を充実させる。（めあて・まとめ・ふりかえりの習慣化）。AIドリルパークの効果的な活用と状況把握。 ・【算数】授業最初にかけ算九九や前単元、前学年のおさらいを行う。また、間違えた問題の見直し力の向上を図る。 ・教科書問題をノートに解く習慣を身に付けさせる。 ・「家庭学習のすすめ」の作成と保護者への周知をする。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・特別支援教育研修会を年 3 回開催する。 ・特支研修内容の系統的な配列を作る。 ・児童に合った指導展開や担当教諭の固定化など、習熟度別指導の工夫を図る。	・日々の漢字指導を強化する。（成功体験を増やす、こまめな声掛け） ・区学力定着度調査結果から精選した朝学習の課題を選択・準備する。（ドリルパークAIの活用、D層児童に合った適応問題など） ・放課後学習の充実と委託業者との密な連携。（個人カルテの活用、教諭と委託業者との情報共有など）	・担任以外の教諭や講師と連携し、複数体制で児童に対応する環境を確立する。（学習ボランティアとの効果的連携） ・家庭と連携し、日々の反復練習を習慣付ける。（見直し・丸付け・間違い直しの習慣を定着させる。）
成果指標	・年 3 回（6 月末・1 1 月末・2 月末）児童アンケートを実施し、学校が楽しい・まあまあ楽しいと回答する児童 9 0 % 以上を目指す。 ・同アンケートにて、国語がよく分かる・まあまあ分かれると回答する児童 8 5 % 以上を目指す。 ・同アンケートにて、算数がよく分かる・まあまあ分かれると回答する児童 8 0 % 以上を目指す。	・全国学力調査 C D 層を 5 0 % 以下にする。 ・区学力定着度調査（算数）平均点 6 0 点以上を目指す。 ・日々の単元テスト平均 8 0 点以上を目指す。 ・校内かけ算定着率 9 5 % 以上を目指す。	・全国学力調査の意識調査において、家庭学習 1 時間以上の割合 7 0 % 以上を目指す。 ・家庭学習において、学年×1 0 + 1 0 分の定着率 8 0 % 以上を目指す。